

「いわてっこ」の生育栄養診断基準

「いわてっこ」の生育栄養診断基準を策定した。幼穂形成期は、窒素濃度 1.9~2.3%、窒素吸収量 5.0~7.0g/m²、乾物重 220~300g/m²であり、このときの簡易栄養診断基準は葉色が SPAD 値 39~43、草丈×茎数×SPAD で 1.3~1.9×10⁶、草丈×茎数×カラースケールで 1.7~2.4×10⁵である。

(1) 生育栄養診断基準

	6月下旬	幼穂形成期	減数分裂期
窒素濃度(%)	2.7~3.2	1.9~2.3	1.2~1.6
窒素吸収量(g/m ²)	1.5~2.7	5.0~7.0	6.4~8.2
乾物重(g/m ²)	40~100	220~300	480~620

(2) 簡易栄養診断基準

	幼穂形成期	減数分裂期
窒素吸収量	5.0~7.0	6.4~8.2
草丈×茎数×SPAD*	1.3~1.9×10 ⁶	1.3~1.8×10 ⁶
SPAD 指示値	39~43	37~43
草丈×茎数×カラースケール*	1.7~2.4×10 ⁵	1.6~2.2×10 ⁵
カラースケール	4.7~5.4	4.4~5.5

*草丈：cm、茎数：本/m²、葉色は幼穂形成期、減数分裂期とも(n-2)葉を測定。

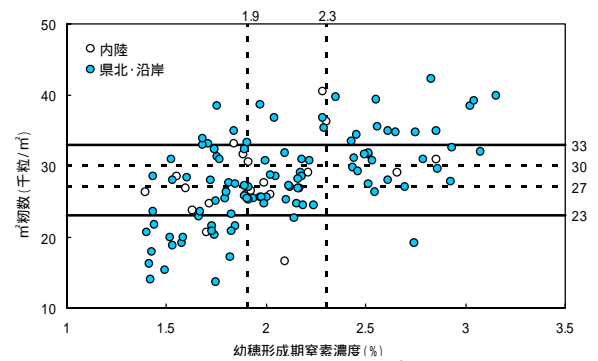


図1 幼穂形成期窒素濃度とm²初数

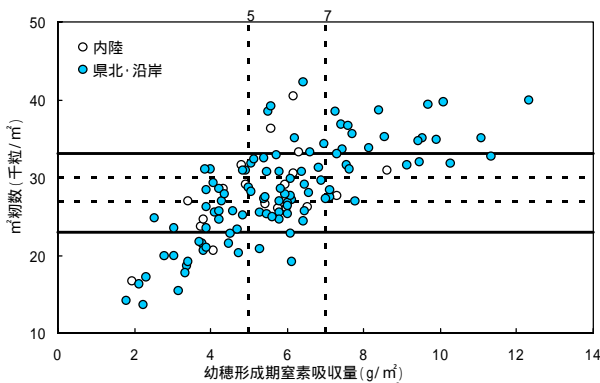


図2 幼穂形成期窒素吸収量とm²初数

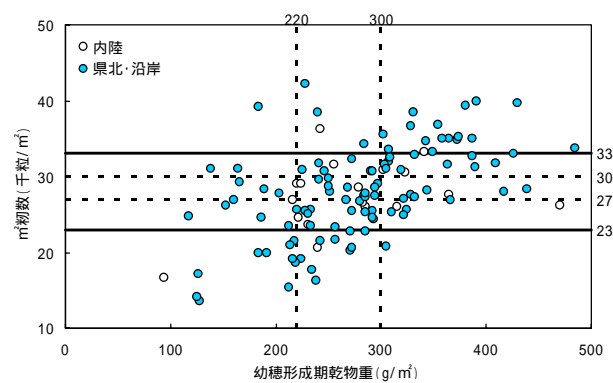


図3 幼穂形成期乾物重とm²初数の関係

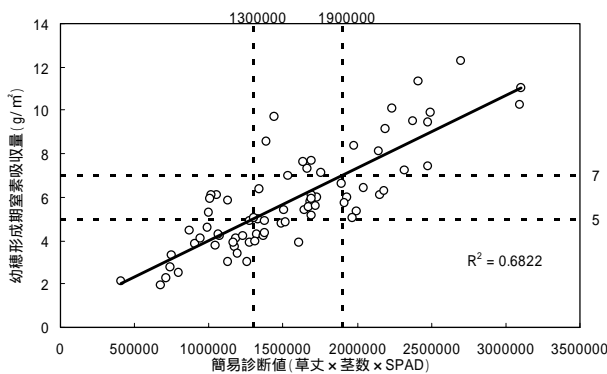


図4 草丈×茎数×SPAD値と幼穂形成期窒素吸収量の関係

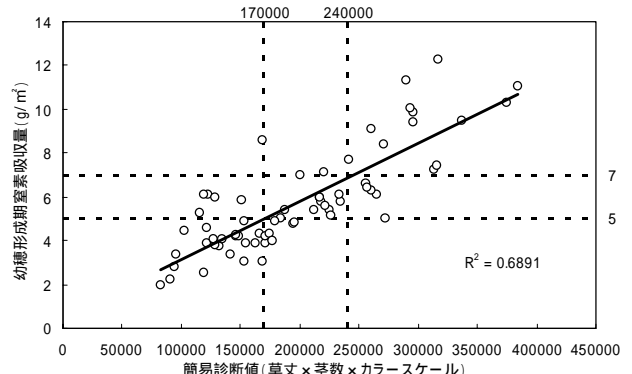


図5 草丈×茎数×カラースケール値と幼穂形成期窒素吸収量の関係

担当研究室 県北農業研究所 営農技術研究室

〒028-6222 九戸郡軽米町大字山内 23-9-1

TEL. 0195-17-1072 FAX. 0195-49-3011